OWL-PC310　シリーズ取扱説明書

この度は弊社製品をご購入いただき、誠に有り難うございます。本製品を正しくお使い頂くために本取扱説明書を必ずご一読下さい。また付属しています保証書は、販売店より日付と販売店舗の記入及び押印を頂くか、購入が証明できるようレシートなどと一緒にして大切に保管して下さい。

１．警告・注意事項

- ✧ ケース内には尖った部分や鋭利な部分があります。手袋着用などで身体の保護を図ってください。
- ✧ 配線の間違いや、線を金具などで挟みますとショート事故となり、火災の発生原因になる場合があります。
- ✧ 電子部品は静電気に大変弱い部品です。作業を行う前に必ずアースを取るなどして静電気対策を行ってから作業を実施して下さい。
- ✧ 各機器（HDD・FDDなど）をネジ止めする際は、各機器付属のネジをお使い下さい。
- ✧ 本説明書ではハードディスクドライブを「HDD」フロッピーディスクドライブを「FDD」長さ単位のインチを「”」と表現しています。同様にその他の部品などでも略号や通称を使用しています。
- ✧ 電源ユニット搭載モデルの場合、付属ACケーブルは、安全規格上その電源ユニット専用のものです。他製品への流用や他製品からの流用はできません。
- ✧ 製品の改善などのため、予告なしに仕様の変更や、付属品の変更又は追加や削除をする場合があります。

２．付属品及び名称

六角スタッド

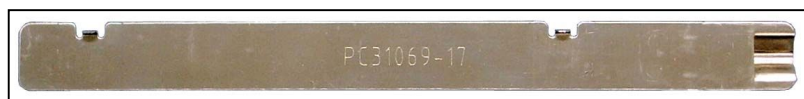
プラスティックスタッド

皿ネジ（インチ）

ミリネジ

インチネジ

5.25”機器位置決めプレート

【各部名称】

フロントパネル

5.25”マスクパネル x2

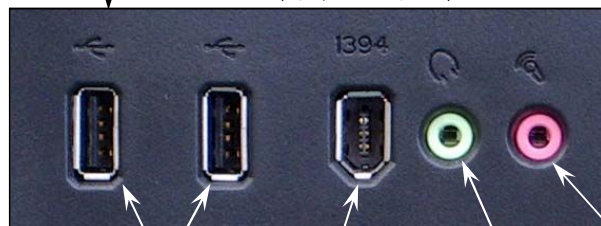
3.5”マスクパネル

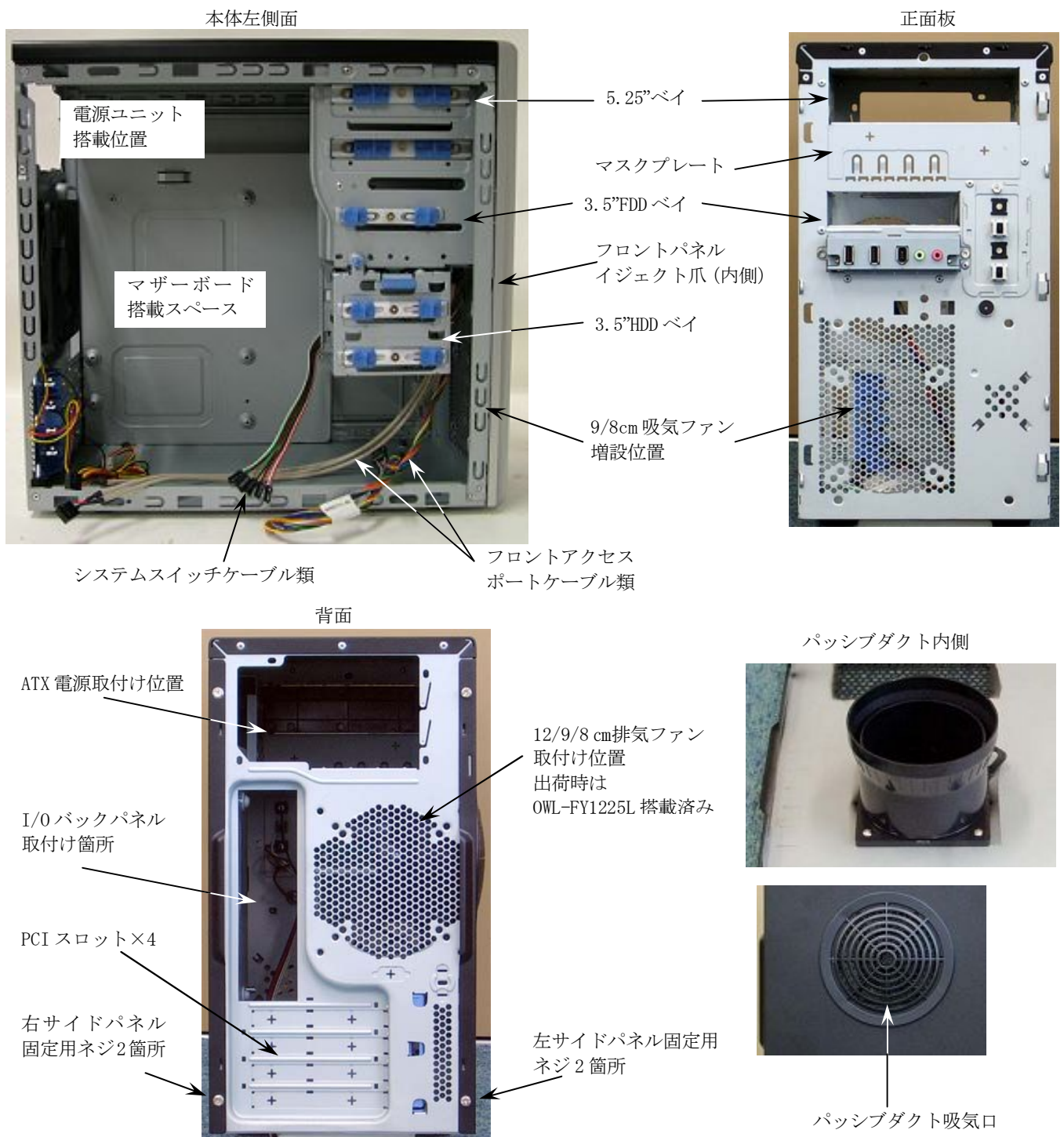
パワーボタン

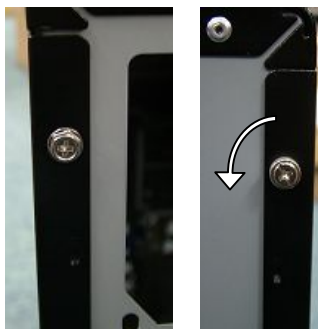
パワー LED(青)

アクセス LED(青)

リセットスイッチ

フロントアクセスポート

1394

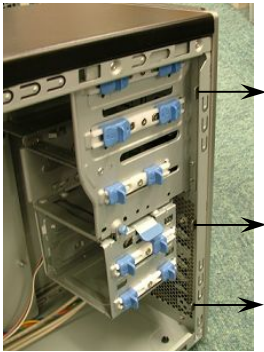
USB　IEEE1394　ヘッドフォン　マイク

３．サイドパネルの取外し

本製品のサイドパネルはネジで固定されております。ネジを外して取外してください。

①右サイドパネルはネジ、左サイドパネルは手ネジとなります。左の手ネジを外します。

②後ろ側に突き当たるまで2cmほど引きます。

③パネルを一旦持ち上げ、横に取外します。

4．フロントパネルの取外し

本製品にドライブ類を組込む場合や、前面の吸気ファンを増設する場合はフロントパネルを取り外す必要があります。フロントパネルはロック用の爪で固定されています。

①ロック爪を上から順に解除していく。

【爪部分拡大】

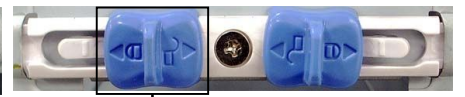
②爪を親指側に力をいれて、パネルが倒れないよう手で支えながら引きフロントパネルを前面に押します。

③ロック爪部分が解除されたら、矢印の方向にフロントパネルを動かし取外し完了､作業に支障の無い所に置きます。

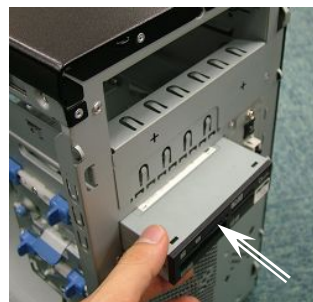
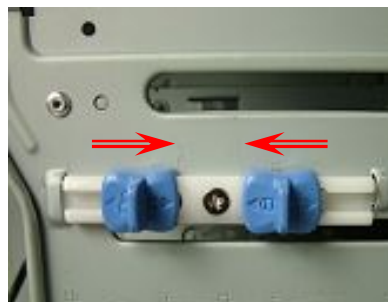
5．ネジレス固定具の取扱い

本製品の、3.5”FDDや5.25”光学ドライブなどの機器をネジレスで固定するため、ネジレス固定具が付属しています。（5.25”ベイｘ2、3.5”FDDベイｘ1、3.5”HDDベイｘ2）

【注意】ネジレス固定具をロック解除側にしてから機器を組込んでください。解除側は各固定具により左右方向が違います。又、機器のネジ穴とネジレス固定具のネジ穴位置が合っていることを確認の上、ロックをしてください。ロック位置で固定ピンが出っ張ったまま各機器を挿入したり、ネジ穴が合わず無理に力を加えたりすると、ネジレス固定具が破損する恐れがあります。破損した場合は固定具を外し直接ネジで固定してください。上記内容を守らず破損した場合は保証対象外となります。

【注意】各ネジレス固定具のロック側/解除側は左右で逆になります。以下の写真は全て解除側になっています。

6．3.5”FDDの取付け

本製品には3.5”FDDベイが装備されており、FDD又は内蔵式カードリーダなどの組込みができます。

①FDDマスクパネルの爪を内側より押し、マスクパネルを外します。

②カードリーダを3.5”FDDベイに、挿入します。

③3.5”FDDベイのネジレス固定具を外側にスライドしてロックします。

④フロントパネルを取付けて、完了です。

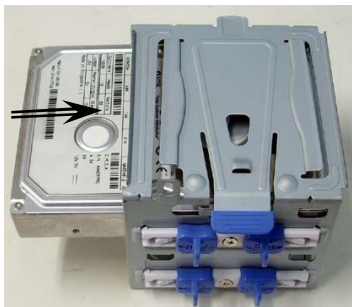
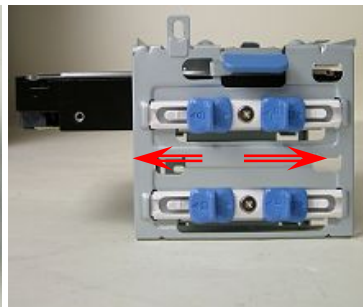
７．3.5”HDDの取付け

本製品では最大2台のHDDを組込むことが出来ます。固定には、付属しているネジレス固定具を使用します。

【注意】★HDDを取付ける前にドライブのマスター/スレーブの設定（SATAは不要）を必ず行って下さい。

★ドライブは精密製品ですので静電気対策及び振動・衝撃等を与えないように十分ご注意下さい。

① 3.5”HDDベイ左上部のネジを回し外します。

②フックを下に押しながらベイを手前に引出します。

③HDDを挿入します。

④HDDのネジ穴とロック固定具の位置が正しいことを確認し、外側にスライドしてロックします。

８．5.25”機器の取付け

本製品では最大2台の5.25”機器（光学式ドライブやモービルラックなど）を組込むことが出来ます。

【注意】★光学ドライブを取付ける前にドライブのマスター/スレーブの設定を必ず行って下さい。

★5.25”機器の奥行寸法や、組込む位置によりマザーボード上の部品と干渉する場合があります。マザーボード及び5.25“機器をお求めの際は、組込み可能かをご確認の上お求め願います。

①該当部分のマスクパネルの爪を内側より押し、マスクパネルを外します。

②5.25機器右側下段に位置決めプレートを取付けます。

【注意】プレートは下段に付けてください、中央に付けると5.25”機器がベイから抜けなくなります。

③5.25”ベイに突き当たるまで挿入します。

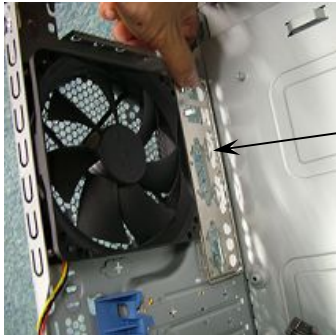
④ネジレス固定具を外側にスライドしてロックします。

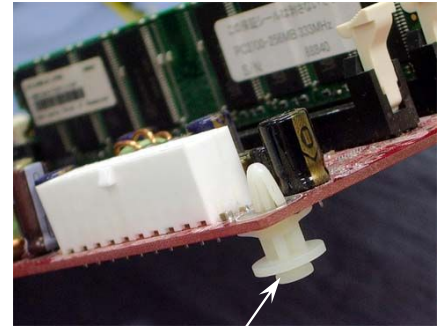
⑤フロントパネルを取付け、完了です。

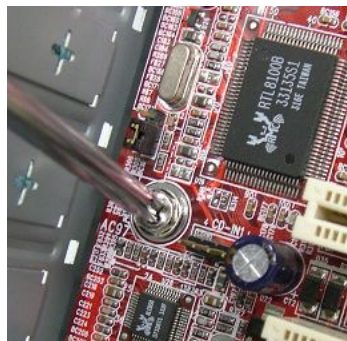
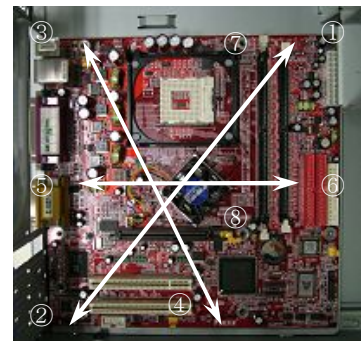
＊2段目に取付ける場合は、事前にマスクプレートを＋ドライバーで上下にねじるようにして取外して下さい。
＊怪我をしないようご注意ください。

９．マザーボードの取付け

本製品ではマイクロATXサイズ（244×244mm以下）のマザーボードを搭載することが出来ます。マザーボード取付けには、必要に応じて付属の六角スタッドを追加します。

【注意】★不必要な部分に六角スタッドは絶対に取付けないで下さい。ショート事故等を招き、マザーボードに重大な障害を起こし、火災などの原因となる可能性が有ります。

①マザーボード付属のI/Oバックパネルを取付けます。

②マザーボードの固定穴に合わせて六角スタッドを取付けます。

③マザーボード固定ピン、左側面から見て右上１箇所はこのピンで固定します。

④I/Oバックパネルにコネクタ類を合わせながらマザーボードを入れます。

⑤固定するネジ穴全てに､付属のインチネジを入れます。（ここでは締付けしない）

⑥ネジの締め付けは、対角線上の順番で締めていきます。

⑦I/Oバックパネルに正しく各種コネクタが出ていることを確認します。

１０．システムパネルケーブルに関して

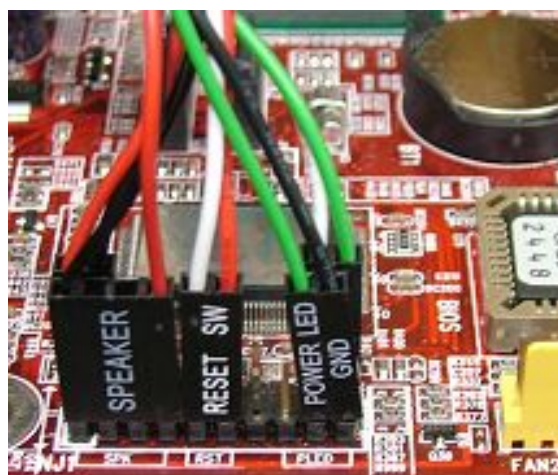
　正面板に装備されているスイッチ・LEDに接続されているコネクタの説明を行います。
接続先に関しては、ご利用のマザーボードマニュアルを参照して下さい。

●パワーLEDコネクタ
　－：黒(GND)
　＋：緑

●アクセスLED
　－：黒
　＋：赤

●パワースイッチ
　極性無し

●リセットスイッチ
　極性無し

●スピーカー

各スイッチなどをマザーボードに接続した例、
マザーボードにより位置などが異なります。

１１．フロントパネルアクセスポートに関して

　本製品のフロントパネルにはIEEE1394､USBポート､ヘッドフォン､マイク端子がそれぞれ装備されております。
【注意】★接続の際にはマザーボード付属のマニュアルを確認して接続して下さい。
　　　　★マザーボード又は拡張ボード（PCIカードなど）に接続ピンヘッダーが無い場合は、フロントアクセスポートが使用できません。
　　　　★以下のピンアサインと相違がある場合もフロントアクセスポートが使用できません。相違があるまま接続しますとPCや、接続した機器を破損する恐れがあります。

●USB 9ピン・ピンヘッダー側に接続します。

線色	内容	他での呼称例
赤	+5V	VCC*, PWR, POWER
白	データー	USB*-, D-, DATA-, LDM*
緑	データ＋	USB*+, D+, DATA+, LDP*
黒	グランド	GROUND, GND, COMMN

(AC97用)　(HD AUDIO用)
●オーディオコネクタに接続します。

●IEEE1394コネクタに接続します。

IEEE1394ピンアサイン。
ロットにより線色が変わる場合があります。

内容	線色
誤挿入防止	なし
	なし
TPB+	緑
グランド	黒
TPA+	茶

線色	内容
なし	
黄	VCC(+12V)
赤	TPB-
黒	グランド
橙	TPA-

▽マーク有り

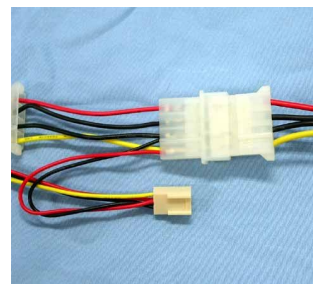
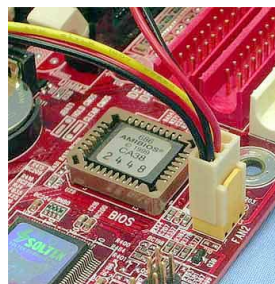
１２．ファンケーブルの配線・ファン交換及び増設方法

本製品の背面には12cm排気ファンが装備されており、正面には8cm又は9cm吸気ファンの増設が可能です。右の写真の様に、引出されている線の“ミニ3PINコネクタ”をマザーボードのファンコネクタ、又は“4PINペリフェラルコネクタ”を電源ユニットに接続してください。

【注意】★付属ファンのケーブルは、3PIN又は4PINのどちらか一方を接続してください。両方を接続するとショート事故になる可能性があります。

★自作パソコンの温度管理はお客様の責任です。CPUや各種部品の発熱が多い場合は、増設や強力なファンに交換するなどの対応が必要です。冷却能力を超えた過熱による故障などは保証の対象外です。

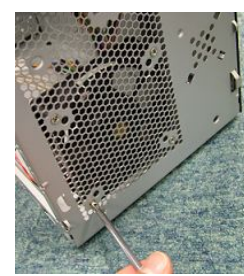
★雑音や故障の原因となりますのでファンの中心部を押したり、羽を指で回したりしないで下さい。

★冷却性能を保つため定期的にホコリ除去等のメンテナンスを実施して下さい。この際、掃除機の吸引気で羽を回すと故障や雑音発生の原因になりますので、羽を固定して実施してください。

【背面排気ファン取外し】

①背面の取付けネジを４箇所外します。

【 正面吸気ファン取付け】

①ファンの向きを確認します。吸気方向になるように取付けます

②ファンを内側より正面板に当て、外側よりネジ4本で仮締めします。

③対角線上の順番でネジを本締めして、完了です。

正面ファンは製品に付属しておりません。
必要に応じて市販されているファンをお求めください。

１３．電源ユニットの取付け

電源の不具合やメンテナンスのために電源ユニットを交換する場合も下記の手順に準じてください。
（本製品には電源ユニットは付属していません。お客様の環境に合わせた電源を別途ご用意ください）

①マザーボードなどの部品を避けながら、ケース内に入れます。

②背面板に密着させます。

③固定ネジ4本（○印）を仮止めし、線の挟まりなどがないか確認します。

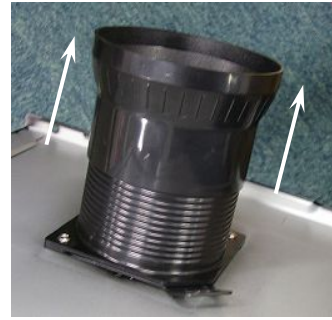
④固定ネジ4本を締め付けして完了です。

【注意】
★電源ユニットの作業を行う場合は、必ず電源コンセントを抜いてから作業を行って下さい。
★ケース内部には鋭い突起部分が有ります。触れると負傷する場合がありますので、手袋などで身体の保護を図り、尚且つ作業中は十分な注意を払って行って下さい。

１４．パッシブダクト

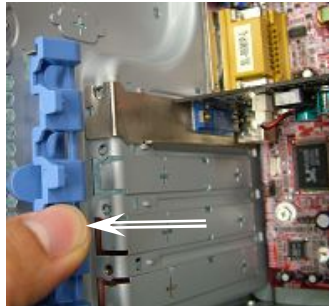
本製品はサイドパネルに、高さ可変式のパッシブダクトを装備しております。
ご利用になる、CPUクーラーの高さに合わせてダクトを調整することが可能です。
【注意】★このダクトとCPUクーラーとの隙間が5～20mm位になるよう（CPUクーラーに接触しないよう）調整をしてください。CPUクーラーやその他の部品に接触させますと故障や異音の原因になります。

パッシブダクト外部

パッシブダクト内部

CPUクーラーに合わせて位置を調整します。

１５．PCIボードなどの取付け

本製品のPCIスロットへのPCIボードの取付けを説明します。

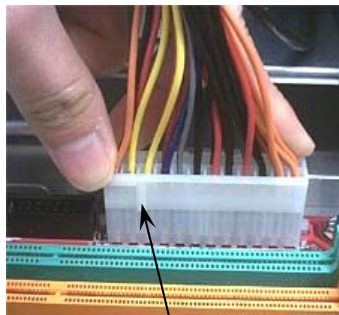
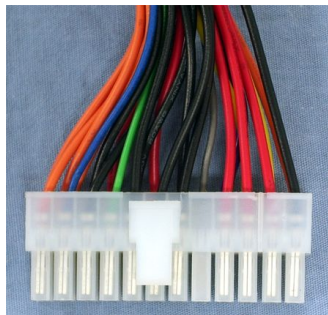
事前にPCIマスクプレートを＋ドライバーで上下にねじるようにして取外して下さい。
＊怪我をしないようご注意ください。

PCI金具固定具を開いた状態にしてPCIボードをマザーボードに垂直にセットします。

PCI専用固定具を閉じて、ネジ穴から、ネジを入れPCIボードを固定します。

１６．電源コネクタ各種説明

ここでは弊社取り扱い電源の中から抜粋して、一般的な接続の解説をいたしますので参考にしてください。

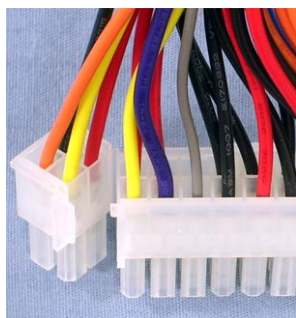
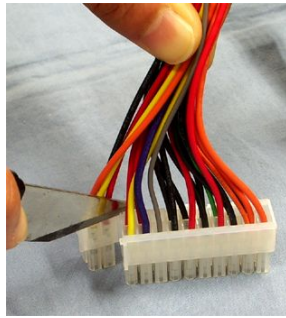
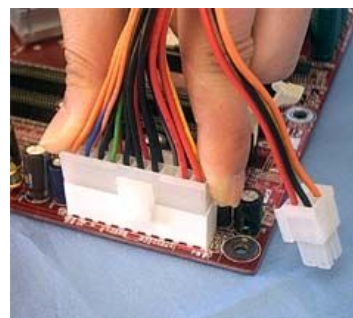
【注意】★弊社取扱い電源でも種類によりコネクタなどに相違があります。
★各電源メーカーにより、取扱い方法が異なる場合やコネクタなどに相違がありますので、詳細はご使用になる電源ユニットのメーカーにお問合せ願います。

【マザーボード用　20+4ピン　コネクタ】
マザーボードの24ピン電源コネクタに挿入します。
20ピン部分と4ピン部分の双方を押すようにしてください。

20+4ピン結合部分

マザーボードが20ピン電源コネクタで、余る4ピン側が他の部品などに接触しない場合。
結合部分を外すと4ピン部分が開きますので、20ピン部分をマザーボードの20ピン電源コネクタに挿入します。

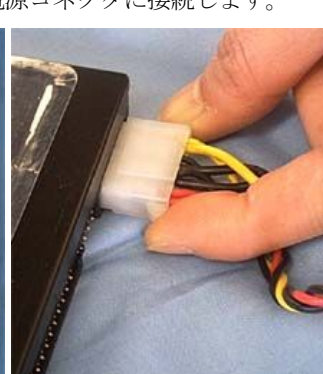
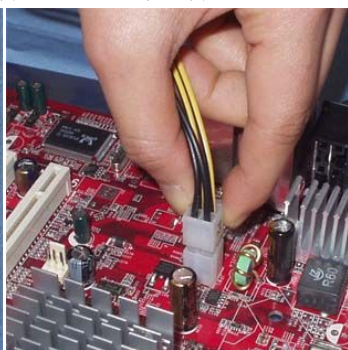
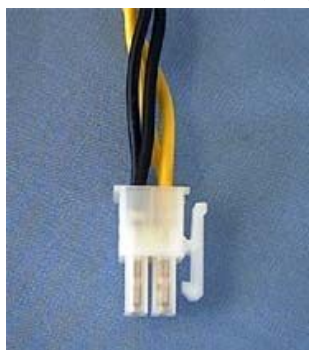
結合部分を外すと
4ピン側が開く。

余る4ピン側が他の部品
などに接触しない場合。

マザーボードが20ピン電源コネクタで、余る4ピン側が部品などに接触する場合。

結合部分を外し、4ピン
部分を開きます。

ナイフなどで4ピンと20ピン
の接続部分を切断します。

20ピン部分をマザーボードの20ピン
電源コネクタに挿入します。

【警告】20+4 ピンコネクタの切り離しにはナイフなどの工具が必要です。切離し作業の際、刃物で負傷しないよう手袋をするなど身体の保護を図ってください。

【注意】余分なコネクタ及び切り離して使用しないコネクタはショート事故防止のため、尖った物などに中芯ピンが接触しないよう固定するか、絶縁テープなどで保護してください。

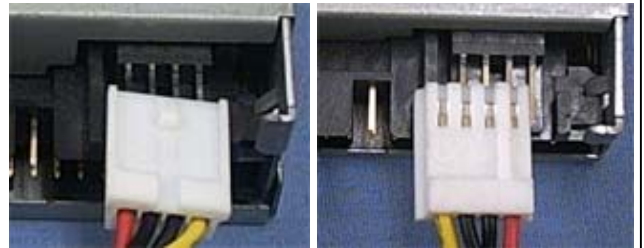
【 ATX12V 4ピン電源コネクタ】
マザーボード上の ATX12V 電源コネクタに挿入します。
※製品により4+4の8ピンになります。4ピンのみ使用する場合は
前項のマザー用24ピン切り離しを参考に、切離してご使用下さい。

【ペリフェラル4ピン電源コネクタ】
HDD、CD-ROM 等の電源コネクタに接続します。

【警告】各コネクタは、逆挿し（裏返し）や、ずれ挿しをしないよう注意してください。
誤挿入を防止するためコネクタの形状は工夫されていますが、材料がプラスチックのため、強く押す事で、逆さでも挿入できてしまう場合があります。
また、電気的に接続してはいけない場所でも、接続できてしまう場合がありますので、コネクタの機能と接続先の機能を、各機器のマニュアルなどで確認の上、接続してください。
誤接続、逆挿しやずれ挿しをしますと、各機器の故障だけでなく火災の発生原因になります。

FDDへの接続を、電源取扱い時の注意例として掲載しましたが､他のコネクタでも発火や事故防止のため同様な注意が必要です。

写真は FDDへの接続不良例です。
製品により位置や向き、形状が違います。

逆挿し（裏返し）　ずれ挿し（横ずれ）

【ミニ4ピン電源コネクタ】
フロッピーディスクドライブ、USBベイ等の電源コネクタに接続します。

【 S-ATA 電源コネクタ】
S-ATA HDD に接続します。

【 PCI EXPRESS 6ピン電源コネクタ】
PCI EXPRESS ボード上の 6ピン電源コネクタに挿入します。

【 ATX12V 8ピン電源コネクタ】
マザーボード上の ATX12V 8ピン電源コネクタに挿入します。
※本コネクタは製品により付属しません。その場合4+4の8ピンを切離さずにご使用ください。

パソコンケースで困ったときは？

パソコンケース組立て時にご不明な点が有り下記の問題点と同じ場合は､該当致します項目をご確認願います。

Ｑ：電源が入らない。
Ａ：①電源ケーブルを奥まで接続していますか？電源タップを使用している場合はタップの確認をして下さい。
②電源ユニットにスイッチがある場合は、スイッチの確認をして下さい。「〇」がOFFで
「｜」がONになります。
③パソコン本体にあるパワースイッチコネクタをマザーボード上の正しい位置に接続していますか？

Ｑ：電源は入るが画面に映像が映らない。
Ａ：①モニターの電源を「オン」にしていますか？
②パソコン本体に接続するVGAケーブルを間違えた場所に接続していませんか？
③「ビープ」音が鳴っている場合は、周辺機器(CPU・M/B・メモリー等)に異常が発生していますので周辺機器をご確認して下さい。

Ｑ：ケースに搭載されているLEDやスイッチ類の配線方法が良く分かりません。
Ａ：各スイッチ類には極性が有りませんので、どちら向きに接続しても問題はありません。
LEDには極性があります。弊社の付属ケーブルでは「白又は黒」がマイナス(GND)側になります。
また、フロントにUSBポートが付属している場合、その付属ケーブルはマザーボード上のUSBピンヘッダーに接続して下さい。信号名はマザーボードメーカーにより名称が異なりますのでマザーボード付属のマニュアルにてご確認願います。

Ｑ：ケースに搭載されている電源を交換することは可能ですか？
Ａ：ATX規格の電源はメーカー問わず規格で統一されていますので交換をすることは可能です。
ただし、ATX12V Ver1.3からは-5Vの電源ラインが削除されておりますので型番の古いマザーボード等では正常に動作しない場合が有りますのでご注意ください。（ISAバス搭載M/B等）

Ｑ：マザーボードの取付け位置が合わない。
Ａ：マザーボードは背面のI/Oパネル部分を先に差込み、所定の穴位置に合わせます。ネジで固定する
場合は、最初の1本目から本締めすると2本目からのネジ位置が合わなくなるので全てのネジを仮止めしてから本締めを行って下さい。また、ネジは対角線上の順番で本締めをしてください。

Ｑ：FDDやHDDを固定するネジは？
Ａ：通常、FDDやCD-ROMを固定するネジはミリネジを使用します(ねじ山の間隔が狭いネジ)。
また、HDDを固定する場合はインチネジを使用します(ねじ山の間隔が広いネジ)。
＊HDDやCD-ROMにネジが付属されている場合は、その専用ネジを使用して下さい。

Ｑ：マザーボードのI/Oパネルとケースの I/Oパネルの形状が異なります。
Ａ：ケースに搭載されているI/Oバックパネルは取外すことが可能です。上下ツメで固定されているので
上下の部分をマイナスドライバー等で軽く押し交換をして下さい。また、板金などのエッジ部分に
鋭い部分が有りますので交換の時は、ケガをしないよう十分注意して作業を実施して下さい。

Ｑ：PCI拡張スロット全てに拡張カードを接続してもOKですか？
Ａ：システムが不安定になる場合が多いので、AGPカードを差す下にあるPCIバスと一番下にあるPCIバスにはなるべくカードを接続しないほうが良いと思います。

Ｑ：マザーボードのFANソケットが少なくてケースに搭載されているFANを使用する事が出来ません。
Ａ：FANソケットが少ない場合は、DOS/Vパーツ専門店にて電源から供給しFANを回すことが出来る変換ケーブルが発売をされているので別途、購入し使用して下さい。弊社にて取扱いをしているFAN変換ケーブルの型番は「CBL-CL4」になります。

Ｑ：ケースに付属していた部品を紛失してしまいました。パーツを購入することは可能ですか？
Ａ：保守パーツを購入することは可能です。ただし数に限りがございますので場合によっては保守パーツを
購入することが出来ない場合もございますので何卒ご了承ください。（保証書の確認が必要になります）

また、ケースに関しましてご不明な点がありましたら弊社サポートセンター迄ご連絡をお願い致します。

PC080417-b